

令和7年度 第2回糸魚川市地域自立支援協議会次第

日時:令和8年3月19日(木)9:30～
場所:糸魚川市民会館 3階 会議室

1 開会

2 福祉事務所長あいさつ

3 報告・協議事項

(1)各部会の今年度の取組内容と次年度の予定 資料No.1

(2)第8期糸魚川市ささえあいプランアンケート実施状況 資料No.2

(3)相談支援部会から事例提供と地域課題の検討 資料No.3

(4)令和7年度糸魚川市地域生活支援拠点事業の実績報告 資料No.4

(5)意見交換・情報交換

4 その他(報告事項)

(1)障害福祉サービス事業所の開設について

①bit With You(ビットウィズユー) 上刈地内 R8.1～就労継続支援 A型・B型事業所

②なぎの木 横町地内 R8.4～児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護

(2)おでかけ事業の利用者負担の変更について 資料No.5

5 閉会

「糸魚川市地域自立支援協議会」令和7年度の取組状況と令和8年度の取組予定

資料 No.1

区分 (協議会,各部会)	各区分における課題・懸案事項	令和7年度の取組予定	令和7年度の取組実績	令和8年度の取組予定
相談支援部会 ・相談員 連絡会議 ・地域検討会	(1) 相談窓口の充実・強化 ・基幹相談支援センターの検討など (2) 途切れのない相談支援 ・関係機関のネットワーク化により、乳幼児期から高齢期まで途切れのない支援 (3) 地域生活支援拠点の活用	(1) 地域検討会の開催。(1～2ヶ月に1回) (2) 相談員連絡会議の開催。(月1回) (3) 地域生活支援拠点の振り返りと見直し。 (4) 基幹相談支援センターの検討。 (5) 研修会の開催。	(1)地域検討会(年5回実施) ・同じ事業を展開している事業所ごとに参集。情報共有や共通課題の検討を実施 (2)相談員連絡会議(月2回実施) ・各相談員からの事例検討。各専門部会の報告。地域検討会で挙げられた地域課題の整理。 (3)地域生活支援拠点の見直しと振り返りとして、年2回実施。 ・現登録者と新規ケースの状況確認と登録についての検討。また今年度サービス利用者の振り返りを実施。 (4)基幹相談支援センターの研修会 ・胎内市での基幹相談支援センターの取組の実際を学んだ (5)研修会の実施(年4回) ・8月20日「意思決定支援」 ・10月15日「障害福祉サービスと介護保険サービスについて」 ・11月19日「ひきこもり相談支援」 ・1月8日「成年後見制度のつなぎ方」	(1) 地域検討会の開催。(1～2か月に1回) (2) 相談員連絡会議の開催。(月2回) (3) 地域生活支援拠点の振り返りと見直し。 (4) 基幹相談支援センターの検討。 (5) 研修会の開催。
就労支援部会	(1) 企業等の障害者就労に対する理解促進・支援 ・地元企業との連携、制度の啓発 (2) 福祉的就労の支援とネットワークづくり ・障害の特性に応じた就労支援の充実 ・ネットワークを活用した就労機会の確保と提供 (3) 就労に関する相談と支援 ・関係機関で連携した相談対応と特別支援学校生徒等の進路への支援	(1) 糸魚川ライオンズクラブを軸に交流会を企画し、企業との交流と障害者雇用の促進を図る。 (2) 就労系サービスの利用状況(空き状況、作業内容、施設外就労や施設外支援の実施状況等)の集約と共有に向けた仕組みづくり。 (3) 就労に悩む方に向け、相談先を明確にした広告作成と掲示。	(1) 糸魚川ライオンズクラブとの交流事業(2年目) ・6月6日「誰もが輝ける職場を目指して」 内容:施設外就労の事例紹介とGW 28名参加 企業側の働き手不足の補填と障害福祉への貢献、雇用に向けての準備としての活用。福祉事業所は、工賃向上と利用者の社会体験の確保メリットがある点について理解促進を図った。 ・市内企業2社の実習見学の実施。企業見学を行い、障害者雇用の可能性について意見交換を行った。 (2) 障害者の就労に関する情報発信についての検討	(1) 糸魚川ライオンズクラブとの3年目の交流会を行う。実習に結び付いた2社の事例発表と今後の可能性について意見交換する機会を予定。 (2) 就労事業所の福祉マップを作成。部会の方でマップ作成し、QRコードで各々の事業所のHPやSNSとリンク。事業所別のページについては、事業所ごとに。以前作成した障害者雇用動画もリンクさせられれば視聴できる形を取りたい。 (3) ハローワーク、障害者就労生活支援センターさくらと福祉サービス事業所の連携が見える広告作成。
こども療育部会	(1) 一貫したつながる療育 ・わかりやすい相談窓口、情報発信の必要性 (2) 家庭支援及び学校教育の充実 ・連携による途切れのない相談支援体制づくりなど (3) 子育て支援の充実 ・福祉サービス利用による安心した子育て支援や経済的負担の軽減 (4) 医療的ケア児への支援 (5) 支援体制の連携強化	(1) わかりやすい相談窓口、途切れのない支援体制の協議を継続。また、こどもの成長と共に変化するサービスや支援体制について、保護者が見通しを持てる関り方の検討を行う。 (2) 送迎の問題など地域間でのサービス利用格差について課題整理。	(1) こどもの成長と共に変化する環境や福祉サービスの現状と課題について意見交換を行い、課題解決のアイデアを出し合った。就学先の開始や終了時間に関する事、家庭支援に関する事、福祉サービスや福祉就労に関する事など15項目の検討を実施。 (2) 福祉サービスの地域間格差等の課題整理を実施。地域に事業所がないことで移動の問題が大きな課題となっている。また公共交通の運賃等も値上がりしており家計の負担も増えているなどの意見があった。	(1) こどもの成長と共に変化する環境や福祉サービスについて検討した15項目について、1項目でも多く具体的な課題解決に結びつけられるようさらに内容を精査する。 (2) 福祉サービスの地域間格差等で出された課題を整理し、課題解決方法について検討する。
権利擁護部会	(1) 権利擁護支援のためのネットワークづくり (2) 地域のニーズに対応した利成年後見制度利用支援の充実 (3) 成年後見制度活用のための普及啓発 (4) 虐待防止対策の取組み	(1) 成年後見制度のための体制づくり (2) 地域包括支援センターの社会福祉士部会との合同研修会などに参加し意見交換を行う。	(1) 地域包括支援センターの社会福祉士部会との合同部会を開催し意見交換を行う予定 (2) 相談員連絡会議内の成年後見制度について意見交換を実施 成年後見人制度の利用希望者は増加傾向であり、対象者に丁寧に対応できるような体制が必要であることを確認。	(1) 成年後見制度のための体制づくり (2) 成年後見制度の地域ニーズの把握
移動支援部会	(1) 移動支援事業による外出支援・社会参加の充実 (2) グループ型支援の検討	(1) 移動支援事業について ・利用者の外出支援をスムーズに進めるため、移動支援事業の支給決定に関するQAを支援者間で共有。 ・グループ型支援について他市状況を調査。 ・共助による支援が可能か検討。 (2) 交通手段の検討 ・公共交通の利用だけでなく、共助による移動に関する情報収集、検討。	地域課題として、土日の余暇における、交通手段の限定や通院、通学、通所の不便さがあげられており、状況の把握と対応策等について協議を実施。 (1)移動支援による外出支援・社会参加について ・支援者にて支給決定に関するQAの共有 ・グループ型支援について、他の市町村状況を調査し、まとめと内容の検討を実施 ・地域内での共助での支援の可能性について検討。 (2)交通手段の移動の検討 ・糸魚川市地域公共交通網形成計画のヒアリング・説明後、課題など情報収集・検討の実施 ・市公共交通担当部署との情報共有と意見交換の実施	(1) 移動支援による外出支援・社会参加について ・福祉事業所の活動の一環で、買い物・余暇活動支援の試行を情報共有し、他の活動にも広げるように共助への発信を実施する。 ・地域の互助活動の情報収集と情報提供を行い、障害者支援にも広がるような働きかけを行う。 ・余暇支援まで広げてニーズを把握する。 (2) 交通手段の移動の検討 ・市公共交通担当課との情報共有を定期的実施 ・お出かけパス、タクシー券の拡充を検討
情報発信部会	(1) 学校における障害理解の推進 (2) まちぐるみのバリアフリーの推進 (3) 障害者団体との協働 (4) ボランティアへの支援	(1) 引き続き継続(新規学校開拓のための検討) (2) 障害者アート展の継続(障害者週間の啓発) (3) 広報いといがわで事業所の紹介等	(1) 市内小学校でこころのバリアフリー教室を開催(聴覚障害について2校、視覚障害について2校) (2) 障害者アート展開催。 広報いといがわに作品の写真等を掲載。 (3) ガイドマップ更新	(1) 引き続き継続(新規学校開拓のための検討) (2) 障害者アート展の継続(障害者週間の啓発) (3) 広報いといがわ、行政モニター等で理解促進・啓発等

第8期糸魚川市ささえあいプラン アンケート実施状況

1 市民アンケート

- (1) 調査対象 市内在住の18歳から69歳までの市民 500人（無作為抽出）
- (2) 調査時期 令和8年1月25日から2月15日まで
- (3) 調査方法 アンケート調査票は郵送し、郵送もしくはWebで行う。
- (4) 回答状況 251人（50.2% ※前回43.5%）

区分	回答方法別		男女別		地域別		
	郵送	WEB	男	女	糸魚川	能生	青海
回答数	127	124	110	141	132	64	54
今回	50.4%	49.6%	44.0%	56.4%	52.8%	51.2%	43.2%
前回	(67.1%)	(32.9%)	(43.0%)	(57.0%)	(51.3%)	(52.0%)	(45.0%)

区分	年代別			
	18歳～	30歳～	50歳～	60歳～
回答数	29	48	55	62
今回	11.8%	19.6%	22.5%	25.3%
前回	(14.7%)	(16.6%)	(23.2%)	(26.2%)

※()内は前回数値。

※未回答の設問により、区分ごとの合計が全体の合計と一致しないことがある。

2 ニーズ調査

- (1) 調査対象 在宅の障害者 500人（無作為抽出）
- (2) 調査時期 令和8年3月下旬～4月上旬
- (3) 調査方法 アンケート調査票は郵送し、回収は郵送もしくはWebで行う。
視覚障害者等で上記方法による回答が難しい方には、直接、聴取する。

資料 No.3 は、個別事案により公開しない。

令和 7 年度糸魚川市地域生活支援拠点事業実績報告

1 目的

地域で生活する障害者等の緊急時に、障害福祉サービス事業者等と連携し、緊急対応（緊急短期入所、緊急居宅介護、緊急かけつけ応援）を実施することにより、障害者等及び家族が地域で安心して生活できるよう支援する。（令和 2 年 12 月 1 日運用開始）

2 登録者数

8 人（令和 8 年 2 月 28 日現在）

3 拠点事業契約事業所（令和 8 年 2 月 28 日現在）

法人名称	事業所名	加算（注）
社会福祉法人奴奈川福祉会	メモリアルホームみずほ	○
	支援センターささゆり	
	ワークセンターにしうみ	○
	相談支援センターみずほ	
社会福祉法人ひすい福祉会	エスポアールはやかわ	○
	クレイドルやけやま	○
	相談支援事業所エスポアールはやかわ	
社会福祉法人上越つくしの里医療福祉協会	地域生活支援センターこまくさ	○
	ホームつくし糸魚川	○
	好望こまくさ	
株式会社カネタ建設	ライフケアおれんじ	
社会福祉法人糸魚川市社会福祉協議会	介護センターにじ	
5 法人	12 事業所	6 事業所

（注）加算…事業者からの申請に基づき、市が地域生活支援拠点として位置づけ、地域生活支援拠点に関する障害福祉サービス給付費の加算請求が可能な事業所

4 令和 7 年度実績

(1) 利用者：男性 1 名

(2) 利用内容：緊急駆けつけ応援…令和 7 年 9 月 16 日（火）

緊急短期入所…令和 7 年 9 月 16 日（火）～17 日（水）

(3) 対応事業所：地域生活支援センターこまくさ、ホームつくし糸魚川

令和8年4月1日から

バス運賃値上げに伴い

価格改定

6か月券 3,000円 ▶ 4,000円

1か月券 500円 ▶ 1,000円

市内路線バスが乗り放題のお得な定期券

高齢者
障害者

おでかけパス



6か月4,000円、1か月1,000円のお支払いで糸魚川市内の路線バスが乗り放題になる、お得な定期券です。

対象 高齢者おでかけパス | 65歳以上で、市内の自宅で生活している方

対象 障害者おでかけパス | 身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかの手帳の交付を受けている方

定期券 6か月定期 4,000円

定期券 1か月定期 1,000円

※期限が切れる一週間前から更新できます。
※新規購入の方は購入日からの発券となります。
(期限の指定はできません)

路線

 糸魚川バス(株)が運行する市内の路線
※糸魚川～蓮華温泉線は除く

頸城自動車(株)が運行する能生～直江津駅南口線

販売所

糸魚川バス
本社営業所
寺町2-9-12
☎ 552-0180糸魚川バス
能生案内所
能生生涯
学習センター
☎ 566-3371社会福祉
協議会
ビーチホール
まがたま
☎ 552-7700ひまわり
作業所
青海総合福祉会館
ふれあい
☎ 562-1256アルプス口
総合案内所
糸魚川駅
ジオパル
☎ 555-7344土日祝日
も販売

購入するとき必要なもの

 マイナンバーカードや保険証、免許証など
※本人確認ができるもの

障害者手帳 ※お持ちの方のみ

代理の方が購入するとき

上記の本人確認書類のほか…

・窓口へ行く人の印鑑と本人確認ができるもの(免許証など)

下記の券も併せてお使いいただけます。

高齢者
おでかけ支援タクシー券
障害者
福祉タクシー利用券
自動車燃料助成券